

関大エール・マルシェ プロジェクト



30年愛されパン×能登応援Tシャツ

DATA

● 主な連携先・メンバー

就労継続支援 B 型事業所 グーチョキパン屋さん (社会福祉法人さつき福祉会) / NOTO, NOT ALONE 研究所 (社会福祉法人佛子園) / 就労継続支援 B 型事業所 熊の B / 就労継続支援 B 型事業所 道の空 / 菅原天満宮および菅原天満幼稚園 / 関西大学商学部浅田ゼミ 1 期生

● 活動地域

関西大学千里山キャンパスほか

● 活動期間

2025 年 4 月～継続中

● 活動資金

自己資金

#福学連携
#ビジネス教育

目的

会計情報を活用して福祉事業所の商品売上向上というビジネス課題に取り組むことで、「品格ある柔軟なビジネスリーダー」としての素養を身につける。

連携に至る経緯

福祉事業所の工賃向上という社会課題に対してビジネスを学ぶ学生の観点から貢献できる可能性があるのではないかと考え、教員が示した候補先のもとに学生たちが連携先を選択・決定・面談交渉したうえで、商品販売等に取り組んでいる。

活動内容

2025 年 4 月から始まった専門演習では、学生が管理会計を実践的に学ぶために、福祉事業所の抱える課題をビジネス知識をもとに解決することを目指している。商品・時間帯・顧客属性ごとの売上高のような会計情報を使って、ビジネスを改善する PDCA サイクルを回すことが管理会計である。これに向けて下記のような様々な活動を行った。

(1) 連携先の選定・訪問と取扱商品の特長の把握・訴求する顧客価値の検討

- (2) 販売準備 (ポップ・ポスター・レジシステム等の準備、保健所等の確認ほか)
- (3) 販売促進策の検討 (菅原天満宮の合格祈願シールの開発など)
- (4) オープンキャンパス、まち FUN まつり in 関西大学での販売 (計 4 回実施)
- (5) カフェ実現に向けた広報イベントの実施 (於 菅原天満幼稚園)



展示即売会



幼稚園での広報イベント



まち FUN まつり in 関西大学 2025 での販売

活動の成果

- ▶▶ 福祉事業所の商品販売や、能登地震を忘れないという思いを共有することに貢献した。
- ▶▶ 学生たちは販売実践を通じて顧客視点や数字を改善する行動計画の重要性を学んだ。

今後の課題・目標・展開の可能性

- ▶▶ 小売店等と連携した福祉事業所商品の販売拡大
- ▶▶ 企業等と連携した福祉事業所新商品・サービスの開発・販路開拓
- ▶▶ 福祉事業所によるカフェの運営への参画を通じた実践的ビジネス教育の推進

連携先からの一言

多くの若い方に当店の商品を知ってもらえる機会を頂き、とても有難いです。これを機にグーチョキパン屋さんに、旭通り商店街に足を運んでもらえるようになると嬉しいです。

(グーチョキパン屋さん)



商学部 教授 浅田 拓史 Asada Hirofumi

会計情報を使って PDCA サイクルを回す「管理会計」が専門領域。福祉事業所と連携した実践的教育に取り組んでいる。京都大学博士 (経済学)。公認会計士。

